

社 報



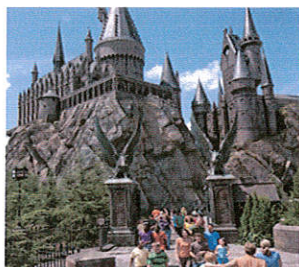
やってみなはれ

第11期 決算

お得意様・取引業者の皆様・社員の皆様など、多くの関係者の皆様のおかげで、第11期決算を終えることができました。

おかげ様で、2年連続して黒字となりましたことは、当社のあり方が、一応の評価を得たとして、良かったと思います。しかしながら、前期比較では減収・減益ですので、さらなる増益を目指して、新たな取組みも始めねばなりません。

前向きに、前向きに！進んでいきましょう。



USJ ハリーポッター 7/15開業
(当社も施工協力させていただきました。)

酒類大手のサントリーが、社長を創業家以外から迎えることになったと、マスコミで報道されていました。新社長は、ローソンの社長で、ローソンの発展に手腕は発揮したとされる、新浪氏です。この背景には、飲料業界の世界規模での競争に、打ち勝たねばならない事情があるようです。

サントリーと言う会社は、創業者の鳥井さんの名をもじって、トリイサン、サントリーになったと言う、有名な話があります。

そしてもうひとつ有名な話が、サントリーの社風を一言で言い表した、「やってみなはれ」です。

～以下、ホームページ抜粋～

サントリーの創業者鳥井信治郎氏は、どんな苦境に陥ちこんでも自身とその作品についての確信を捨てず、そして、たたかれてもたたかれてもいきいきとした破天荒の才覚を発揮しつづけた人であった。それを最も端的に伝える言葉として彼がことあるごとに口にした日本語が、『やってみなはれ』である。

冒険者としてのチャレンジング精神がサントリーのDNAとして創業100年以上経た今もなお、生きている。現状に甘んじることなく、異分野・新しいことへの挑戦を続ける。ここに、「結果を怖れてやらないこと」を悪とし、「なさざること」を罪と問う社風が存在している。

～以上、ホームページ抜粋～

やはり一流会社ともなると、こういう逸話が脈々と社風の中に生きているというところが「スゴイ！」です。特に、結果を怖れてなさざること罪に問う、この言葉はスゴイです。

社会一般では、大勢の中で目立たぬように、失敗することを怖れて、そこそこに生きようとする人が多いのですが、その弊害を見抜き、なさざりは罪、と言い切っています。

まさにモノゴトの核心をついていると思います。この世に生を受けて、社会の中で存在している以上、社会のお役に立つべく、精一杯の挑戦をすることは人としての正道です。

失敗を恐れて人影に隠れるような、ことではいけません。(反省)

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

材料が足に落下して負傷

6月13日(金) 9:00頃

西宮市林田町分譲マンションの現場にて、1F床上で仮置きしていた型枠加工材(高さ=1500程度)を、運搬しようとして、加工材を摺り降ろそうとしている時、手が滑って加工材が落下、右足小指辺りに当たって負傷したものの。
被災者:濱田純一

所属:浦谷部-濱田組

職種:型枠大工

年齢:61歳

経験:21年

傷病:右第5趾骨折

休業見込み:30日(休業災害)

皆さん気を付けてください。

今月は事故がありませんように・・・。

2014年 安全成績

■現場災害 H26.1.1-H26.7.5

休業災害 ----- 2
不休災害 ----- 0
物損災害 ----- 0
その他 ----- 0
合 計 ----- 2

■交通災害 H26.1.1-H26.7.5

人身災害 ----- 0
物損災害 ----- 0
合 計 ----- 0